

広報

くどやま

2021

4月号

NO. 546

河根小中学校の様子

高く遥か遠く

思いは届く



善行児童・生徒表彰

2月18日、学校や家庭、地域における生活態度が立派であるとして、町内の小・中学生3人が善行児童・生徒として表彰されました。（敬称略）

受賞者

九度山小学校 木上 杏樹（このうえ あんじゅ）
 九度山中学校 中垣 敬斗（なかがき けいと）
 河根中学校 正木 太遥（まさき たいよう）



左から木上さん、中垣さん、正木さん ▶

九度山ジュニアソフトテニスクラブが優秀な成績

令和2年11月28日に第20回全国小学生ソフトテニス選手権大会和歌山県予選会が白浜町テニスコートで開催され、当クラブが優秀な成績を納めました。

なお、入賞した選手は、令和3年3月29日～31日に千葉県白子町で開催される第20回全国小学生ソフトテニス大会に出場が決まりました。

結果（敬称略）

男子の部

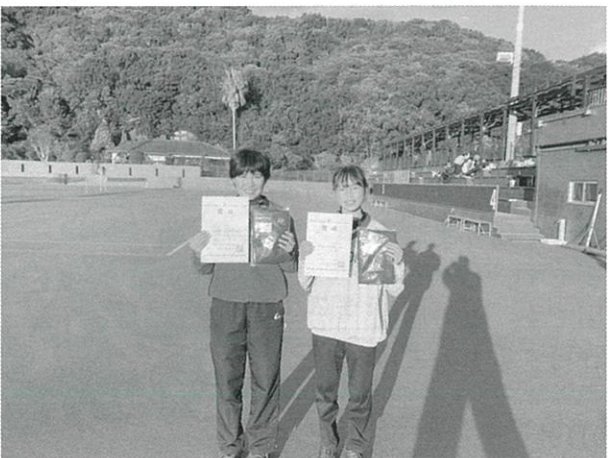


優勝 中邑夢弥（5年）・林寿李稀（5年）



準優勝 木上漣（6年）・海堀大翔（6年）

女子の部



準優勝 北村朱寿加（6年）・小山希栞（6年）



九度山小学校の児童たちがこいのぼりを作りました。

2月9日、九度山小学校1年生、6年生の児童たちが、「こいのぼりの丹生川渡し」で使用するこいのぼりを作りました。このこいのぼり作成は今年で3回目となりました。新型コロナウイルスの影響で、「全員一緒に」とはいかず、人数をわけて図工室で作業を行いました。児童たちは、それぞれの願い事をこいのぼりに書き入れた後、絵の具をつけた手のひらを押し当て、こいのぼりに色をつけていきました。色鮮やかに完成したこいのぼりは4月中旬からはじまる「こいのぼりの丹生川渡し」で、大空を元気いっぱい泳ぎます。



九度山保育所だより

九度山保育所において、2月中に行われた行事の一部をご紹介します。園児たちは寒さに負けず、元気に過ごしました。



2月2日 節分、豆まき

新聞紙で作った豆を「こわーい」鬼をめがけて、「えい〜」と退治しました。



2月3日 いちご狩り体験

5歳児がバスに乗って、慈尊院の奥いちご農園へ。「あま〜い」いちごをたくさんいただきました。

2月6日 発表会 3・4・5歳児の子どもたちが、「げんきい〜っぱい」に発表しました。





第3回『久保の桜コンサート』

今年も、久保の桜コンサートの季節がきました。
自然豊かなくどやま森の童話館で春の音色を満喫しませんか？

日時 令和3年4月10日(土)
午後1時半～午後3時
場所 くどやま森の童話館(九度山町北又379番地)
内容 第3回久保の桜コンサート
～ピアノとヴァイオリンで春を満喫～
出演者 遠藤 史(ピアノ)
寺本 翔(ヴァイオリン&ピアノ) 他
参加費 無料
問い合わせ 教育委員会 (☎54-2019)



サッカークラブチームが関西大会へ！

1月31日、橋本運動公園にてJ A全農杯チビリンピック全国小学生選抜サッカー和歌山県大会が開催されました。この大会において松本金十郎さん(九度山小学校3年)の所属するデポルターレ和歌山FCが準優勝という優秀な成績をおさめ、関西大会出場への切符を勝ち取りました。



松本さん前列左から3番目▶

フットサルクラブチームが関西代表として次の舞台へ！

2月11日、神戸市にあるセレゾン6-aiで開催された西日本フットサル施設連盟選手権2020/2021関西決勝大会兼第23回関西フットサル施設連盟選手権大会(U-12ジュニアクラス)において玉置兼慎さん(九度山小6年)が所属するアズーロ和歌山フットサルクラブがベスト4入賞を果たしました。そして、関西代表として3月6日、7日に和歌山ビッグウェーブで開催された第10回日本フットサル施設連盟選手権大会へと駒をすすめ、見事ベスト8という成績を残しました。



玉置さん 後列右から2番目▶

九度山・真田ミュージアム誘客促進事業(企画展) 『真田忍者、参上!～忍びの術は攻めるにあらず～展』

第一期開催：4月1日(木)から7月25日(日)まで
第二期開催：9月1日(水)から3月27日(日)まで

忍者と聞いて思い浮かべるのは、黒装束に身を包み、山を越え谷を越え、手裏剣を投げる姿でしょうか？しかし、歴史の裏方であった忍者の姿についてわからないことも多くあります。

織田信長が伊賀を攻めた「天正伊賀の乱」を記した『伊乱記』には、忍者の普段の生活が記されています。「平生は寅の刻に起きて、牛の刻まで家業に精を出し、午後から日暮れまで、武芸弓馬の稽古をした。昔から伊賀の遺風として、忍術の通力を相伝し、いかなる要害といえども、忍び込めないところはなかった。」忍者たちはふだんは農民として暮らし、午前中は家業に従事し、午後は任務に備えて武芸や弓、馬などの訓練をしていたようです。



真田忍者といえば、猿飛佐助や霧隠才蔵など真田十勇士として、真田昌幸、幸村に仕えた忍者たちが有名です。真田十勇士は明治時代の講談本や小説で創作されたものです。近代になっても漫画やアニメ、ゲームへと変幻自在に姿を変えながら愛され続けるヒーローたちですが、歴史書を紐解くと「真田十勇士」のモデルとなった実在の人物のことが記されています。



▲ 忍術伝書「万葉集海」尼子騷兵衛氏所蔵

知略で戦国時代を生きた真田一族には、実在した忍びの者たちが仕え、歴史の裏舞台で活躍していたのです。

今回、その実在のモデルとされた群馬県の吾妻地域で真田忍者の痕跡を探るとともに、中之条町や東吾妻町の協力を得て、忍者に関する古文書類をはじめ、実際に使用したとされる鎖帷子や手裏剣、撒菱、鎖鎌などの武器を展示します。また、真田十勇士のモデルとなった忍者たちのエピソードなどを展示することで、歴史の陰の立役者としての「忍者」たちの実像に迫ります。

体験コーナーでは、手裏剣投げができるなど子どもから大人も一緒になって楽しめる企画展を開催します。

■問い合わせ 九度山・真田ミュージアム (☎54-2727)

(5)広報くどやま 令和3年4月号

ご注意ください！たき火・野焼きによる火災が多発

今年に入り、たき火による火災が多発しています。空気が乾燥し、風が強く吹いているときは、たき火や野焼きは控えるようにしてください。特に林野火災は、気象状況等により大火に繋がる恐れがあります。(昨年、たき火による火災が全火災件数の約43%を占めています。)なお、廃棄物の野外焼却は、原則として法律で禁止されています。ただし、農業や林業等を営むために行われるものは、例外として認められていますので、焼却を行うときは次のことに十分注意してください。

- ・たき火をするときは、必ず消防署に連絡し、日時、場所等を届け出てください。
- ・畑の枯れ草や落ち葉を焼却するときは、少しずつ焼却し、必ず消火の準備をしましょう。
- ・空気が乾燥している時や風の強い時はたき火は中止しましょう。
- ・たき火をするときは、そばを離れないようにしましょう。
- ・たき火を終えたら、必ず消火して消えたことを確認して帰りましょう。

※たき火や野焼きをする場合は、消防署への届出が必要です。しかし、この届出は、消防署が実施状況を把握するための届出です。この届出の受理をもって他の法令に係る廃棄物の焼却行為を許可するものではありません。

■問い合わせ 伊都消防組合消防本部 (☎0736-22-0119)



町公式LINEの登録方法

町公式LINEは、情報を選択することはできません。全ての情報が配信されます。

なお、登録方法には、次の2種類の方法があります。

①ID (@kudoyama) から登録する方法

1. [ホーム]>右上の「友だち追加」アイコンを選択します。



2. [検索]を選択します。



3. 九度山町公式LINEアカウントID「@kudoyama」を入力し、検索アイコンを選択します。友だちが表示されたら、「追加」を選択します。



②QRコードから登録する方法

1. [ホーム]>右上の「友だち追加」>[QRコード]を選択します。



2. 下記の[QRコード]を読み取ってください。



3. [QRコード]を読みこむと、その友だちが表示されますので[追加]をタップします。

九度山町メール配信サービス

九度山町LINE公式アカウント

本年4月から始めます!

九度山町では、4月から防災行政無線の放送内容をメールやLINEで配信します。また、防災行政無線の放送以外にも、行政情報やイベント情報などの町の最新情報も配信されます。皆さんも、この機会にぜひご登録ください。

メール配信サービスの登録方法

①空メールを送信

「info.kudoyama-town@raid2.ktaiwork.jp」へ空メール(件名や本文なしのまま)を送信。

※QRコードを読み取れる場合は、右のコードをご利用ください。



②返信メールが届いたら、メールの本文に記載されているアドレス(URL)をクリック

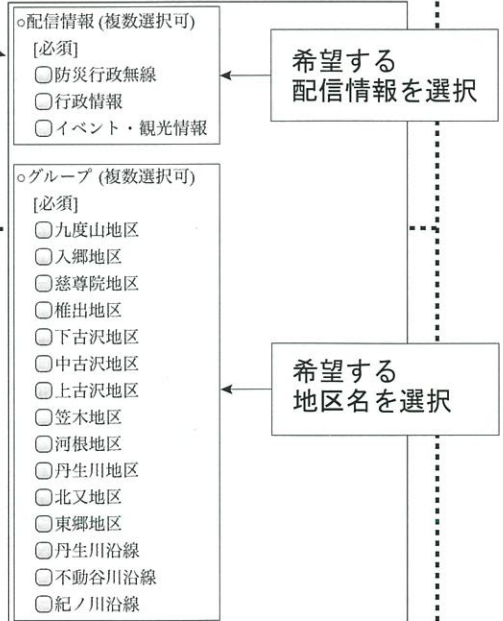
返信メールが届かない場合は、迷惑メール対策で受信が拒否されている可能性があります。「@town.kudoyama.lg.jp」からのメールを受信できるように設定してください。設定方法が分からない場合は、各携帯会社にお問い合わせください。



③希望する配信情報・地区名を選択

④入力内容を確認し、登録ボタンを押します

⑤登録完了を知らせるメールが受信されます



選択配信メニュー

○防災行政無線

防災行政無線の放送内容が配信されます。

○行政情報

町からのお知らせ情報が配信されます。

○観光・イベント情報

イベントや講演会の開催情報などが配信されます。

防災行政無線の放送が聞きこえにくい場合には…

町ホームページに放送内容を表示

町ホームページに、文字並びに音声情報で放送内容が表示されます。



音声ファイルをクリック

防災行政無線電話応答サービス

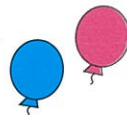
下記のダイヤルに電話をかけると、防災行政無線の放送と同じ音声を聞くことができます。

0736-54-2570

<注意事項等>

- (1) 通話料のみ有料となります。
- (2) 放送終了後から再生されます。
- (3) 新しい放送内容から順に再生されます。
- (4) 電話が混み合った場合、繋がりにくくなる場合があります。

バルーンリリース



3月1日、町内の小中学校、まちなか、スーパー宮脇跡、役場にて総計700個の風船を飛ばす、バルーンリリースが行われました。これは、九度山町住民クラブの方々企画し、各学校や住民の方々の協力を得て準備をすすめ実現したものです。きっかけは、会長の阪井さんが“新型コロナウイルス感染症により、子どもたちが何らかのストレスを感じている。”という報道を目にしたことでした。新型コロナウイルスによる先行きの見えない不安は、多くの子どもたちにストレスという影響を与え、心の内側の不安をうまく伝えることができない子どもたちは、体や態度で表現することが全国的に多くなっていることを知りました。

そこで九度山の子どもたちの気持ちが少しでも楽になるようなことができればと住民クラブをはじめ役場、教育委員会など各方面に呼びかけを始めました。「子どもたちには、コロナに負けず、健やかに育って欲しい。住民の皆さま方には、これをきっかけにあらためて子どもたちに関心を持ち、ともに子どもたちの成長を優しく見守ってもらえるきっかけとなれば。」と想いを話してくれました。



風船に届いた方の心が優しくなるようにと願いを込め、「感謝」「優しくしよう」「夢を持とう!」「Japan 九度山」などが、印刷されました。



子どもたちは学校で、風船につけるタグに、学校名、名前、自分の夢などそれぞれの思いを書き込み、当日を楽しみにしていました。(▲ 九度山小学校での様子)

春の訪れを感じる暖かな晴天のもと、各場所では参加者ひとりひとりに風船が手渡され、どきどき、わくわく、いまかいまかとその時を待っていました。

午後2時まであと10秒となったとき、それぞれの会場で、風船を飛ばすためのカウントダウンが始まりました。「ゼロ!」のかけ声の中、一斉に風船が放られました。色とりどりの風船が、子どもたち、そして住民の方々の想いをのせて飛び立ちました。

子どもたちは、自分の風船がどこへ飛んでいくのかいつまでも見守っていました。



▲ 風船を見守る中学生 (九度山中学校)



▲ まちなか会場での様子

▼ 風船を運ぶ様子 (住民クラブ) ▼



▲ 風船の準備の様子 (九度山町住民クラブ)